

会議報告書

会議名	令和8年度 第2回 三郷市高齢者保健福祉計画策定検討懇話会
日 時	令和8年8月25日(火) 13:30～14:40
場 所	三郷市役所 本庁舎東別館 第1会議室
出席者 (21名)	【座長】 谷口 聡 【座長代理】 今澤 正夫 【出席会員】 佐久間 史晃、秋葉 明、齋藤 義治、近藤 由紀子、渡部 みどり 【欠席会員】 須本 晃夫、小川 孔美、晝間 章 【事務局】 原山 千恵（いきいき健康部長） 長濱 崇二（いきいき健康部副部長） 斉藤 嗣幸（長寿いきがい課長） 岡田 美奈子（長寿いきがい課副参事兼課長補佐兼地域包括係長） 小暮 光直（長寿いきがい課長補佐兼長寿いきがい係長） 齋藤 麻奈美（長寿いきがい課長寿いきがい係） 土屋 勇貴（長寿いきがい課長寿いきがい係） 森 泰子（長寿いきがい課地域包括係主査） 岡本 斗希（長寿いきがい課地域包括係） 篠田 由美（介護保険課長） 川原 健（介護保険課長補佐） 溝口 明日香（介護保険課介護給付係長） 小平 あかね（介護保険課介護給付係主査） 流 智子（介護保険課介護認定係長）
次 第	1 開会 2 挨拶 3 議題 (1)第10期三郷市高齢者保健福祉計画の基本構想について (2)第1期三郷市認知症施策推進計画について (3)成果指標について ①基本目標2 ②基本目標3 4 その他 5 閉会
資 料	次第 資料1 第10期三郷市高齢者保健福祉計画の基本構想について 資料2 第1期三郷市認知症施策推進計画について 資料3－1 成果指標について ①基本目標2 資料3－2 成果指標について ②基本目標3 別紙1 基本目標3 ⑦認知症施策・権利擁護の推進 指標の流れ 別紙2 基本目標3 ⑦認知症施策・権利擁護の推進 成果指標(案)根拠調査について 当日資料1 当日資料2

【会議要旨】

1 開会

- ・司会者（斉藤課長）が開会を宣言

2 座長挨拶

- ・谷口座長より挨拶

3 部長挨拶

- ・原山部長より挨拶

4 議事

司 会 議事の進行を谷口座長にお願いしたいと存じます。

谷口座長 それでは議事に入ります。議題ごとに説明・意見交換を行っていききたいと思います。

(1) 第10期三郷市高齢者保健福祉計画の基本構想について

谷口座長 議題（１）「第１０期三郷市高齢者保健福祉計画の基本構想について」事務局からご説明願います。

事 務 局 資料１に基づき説明。

谷口座長 ただ今の説明について、何かご質問はございますか。
(意見なし)

(2) 第1期三郷市認知症施策推進計画について

谷口座長 議題（２）「第１期三郷市認知症施策推進計画について」事務局からご説明願います。

事 務 局 資料２、当日資料１・２に基づき説明。

谷口座長 事務局の説明について、ご意見・ご質問はございますか。

佐久間会員 ２０４０年の「高齢化率３０％」を見据えて動いていく中、基本方針に“SNS等を使った連携と取組”などの文言は必要とお考えでしょうか。

事 務 局 基本的にそういった視点がなかったため、事務局で検討していきます。

佐久間会員 資料１の５９ページ「フレイル予防と健康リスクの一体的な把握」にとありますが、限られた窓口・限られた人員では、増え続ける対象となる案件を全て把握することは困難になっていくと思います。

MCSは全国で２００の医師会が導入、４４万人のユーザーがいます。無料の非公開型のSNSで情報共有に役立っており、三郷市でも多くの事業者が導入しているようです。たとえ１回の情報共有であっても、互いのスケジュールの調整は困難な現状にあります。そのため、地域包括支援センターにつながる前の段階から、多くの関係者がMCSなどのネットワークに参加できれば、対象者の状況の変化をより可視化しやすくなると思います。今すぐでなくても、２０４０年に向けた土壌づくりの意味合いからも、MCSを活用していくべきではないかと考え、意見として述べさせていただきます。

事 務 局 ご意見ありがとうございます。MCSは我々も、市内医療・介護関係者等との情

	報共有等に使用しております。引き続き、発信・情報共有の仕方については検討を重ねたいと考えております。
佐久間会員	MCSはドクターや訪問看護ステーション等が絡まないと使う理由も意味もないため、電話やファックスでのやりとりになってしまうということが事業者の現況としてあります。もう少し裾野の広いところで様々なかたが登録していくことにより、将来の大きな生産性の向上と、地域包括支援センターをはじめとする現場の負担軽減につながると思います。
秋葉会員	資料2、認知症施策体系図の「施策4 気づきから受診・相談につなぐ体制づくりの推進」について、現在、三郷市として、認知症の健康診断（診断結果から医療につなげる）のような取組は行っていますか。また、周囲のかたが認知機能低下に気づくための具体的な案・計画をお持ちであればお聞かせください。
事務局	健康診断等で認知症に関する専門的な検査項目は行っていないですが、医師会のご協力を得て、健康推進課主導の下、年度末年齢が70歳の市民を対象に「認知症健診」を実施しています。早期発見・早期対応の点では、タブレット端末を用いた「認知機能検査」を市内の公共施設で実施しております。課題としては一人ひとりの検査時間、結果待ちの時間がかかってしまうことがあり、そこも踏まえて次期計画では効率的な認知機能検査の取組を検討したいと考えております。
秋葉会員	そこから受診につながるケースは、どのくらいありますか。
事務局	「認知機能検査」から医療機関に繋がった数は正確に把握できていません。
谷口座長	70歳は「これから」という人が多く、もっと上の75歳も認知症検診の対象に入れたほうがいいと思います。予算の問題もあると思いますが、認知症検診で発見するのが一番医療に結びつきやすいので、是非検討していただきたいと思います。 また、資料2の13ページの課題1で「若年性認知症」という言葉がありますが、市は若年性認知症のかたの数は把握していますか。
事務局	市で把握できているのは、地域包括支援センターで関わっていただいたかたで、2～3人程度です。介護保険課のデータから、介護保険の2号被保険者のうち、疾患の箇所に「初老期における認知症」とあるかたの人数については、割り出しは可能と考えています。
谷口座長	現在、若年性認知症のかたは埼玉県に2,000人超、そこから三郷市は40人くらいと推計されています。通常関わるのは2～3人かもしれませんが、計画に記載するのであればしっかり把握できる方法を見つけると考えます。実態に見合っているのか、内容を精査したほうがいいと思います。
事務局	先ほど「気づき」「家族への支援」で、どのように見つけていくかとの質問をいただきましたが、認知症月間（世界アルツハイマー月間/9月）に「ららほっとみさと」において、9月1日～14日まで、イベントを行います。今年度はこれまでの講演会形式からスタイルを変え、展示のほかに認知症に関する相談の時間を設け、フレイルチェック、VR機器を用いた認知症体験など、認知症当事者だけでなく幅広く体験していただくことで認知症早期発見につなげ、家族間トラブル等を防げればという思いで取組を進めております。
近藤会員	計画案を拝見すると、「認知症になっても安心だな」と思いますが、認知症にならないための予防策・対策があればお聞かせください。

事務局 認知症施策推進計画においては、認知症になること自体がネガティブな偏見につながるのを防ぐため、予防の観点は前面に出し過ぎない表現にしております。予防策等については第10期計画の中の、フレイルの認識向上や体操教室など、身体の状態が認知機能にも影響することから、認知症施策の推進とともに進めていければと考えております。

谷口座長 当日資料1・2について、何かご意見等はございますか。(意見なし)
事務局から何かありますか。

事務局 基本目標3は原案「安全・安心なまちづくりの推進」とさせていただきたいと考えております。なお、基本理念の副題については、次回懇話会にて改めて検討させていただきたく思います。皆様いかがでしょうか。(一同：了承)

谷口座長 ほかにございますか。よろしいでしょうか。

(3) 成果指標 ①基本目標2・②基本目標3 について

谷口座長 議題(3)「成果指標 ①基本目標2・②基本目標3について」事務局からご説明願います。

事務局 資料3-1、3-2、別紙1・2に基づき説明。

谷口座長 事務局の説明について、ご意見・ご質問はございますか。

佐久間会員 別紙2で「認知症の人40名に調査」とありますが、認知症の症状が出ているかたという認識でよろしいですか。また、認知症のかたに限定するのは、「認知症であっても尊厳をもって生活できているか」という確認をご本人にするということですか。

事務局 対象のかたについてはご認識のとおりです。研究全体の目的については、国の委託を受けて日本総合研究所が実施しているものですので、詳細を申し上げることは難しいのですが、成果指標で活用する設問については、概ねご認識に沿った考え方で採用させていただいたものでございます。

秋葉会員 実際に調査を行う際は、介護支援専門員等に依頼があるのでしょうか。

事務局 詳細は別の機会にご説明させていただきますが、介護支援専門員のかたにもご協力いただくことになっております。

谷口座長 ほかによろしいですか。様々な貴重なご意見をいただきましたので、今後の計画策定に活かしていただきたいと思います。

以上で本日の議題はすべて終了し、事務局へお返しいたします。

5 その他(事務連絡)

事務局 次回会議の日程について説明。

6 閉会

・今澤座長代理より閉会の挨拶